

○ふぐ処理の作業工程（課題）

- ・ふぐは、事前にぬめりを除去しています。
- ・工程の順序は、審査の対象としません。
- ・ただし、試験時間内に下表にある全ての工程（課題）を完了していない場合は、時間切れ、有毒部位の残留等として不合格になることがあります。
- ・また、時間内に「部位札」が所定の位置に置かれていない場合も不合格となる場合があります。

工程（課題）【参考】	補足（標準的な処理内容等）
1 手洗いをを行う	石鹼等は置いていないため、水のみで洗う。
2 ひれを切り取る	背びれ・胸ひれ・しりびれを切り取る。
3 口ばしを外し、2つに割る	口ばしの粘液についても除去する。
4 背皮と腹皮を外す	
5 身と内臓を分ける	身・頭部・内臓・えらを分ける。
6 生殖腺を切り取る	生殖腺を包丁で切って、断面を確認してもよい。
7 えらを外す	
8 内臓を切り分ける	かまから内臓を切り分けて、さらに、腎臓・心臓・胆のう・脾臓・胃腸・肝臓を切り分ける。かまから腎臓を除去する。 胆のうを切り取る際には潰さないよう注意する
9 頭と身を切り分ける	頭は2分割し、腎臓・なめたれ（粘膜）・脳・えらの一部を除去する。身は、腎臓・なめたれ（粘膜）を除去する。
10 眼球を切り取る	眼球を切り取る際には潰さないよう注意する。
11 腹側・背皮のなめたれ（粘膜）を取る	
12 皮のなめたれ（粘膜）を除去し、とうとうみ（皮下組織）を分離する。	工程（課題）4で外した皮から、なめたれ（粘膜）を除去し、とうとうみ（皮下組織）を分離する。
13 うぐいす骨を外す	なめたれ（粘膜）・血液を除去する。
14 身・ちり材を洗淨する	なめたれ（粘膜）・血液を除去する。白く磨き上げる。
15 身を3枚におろす	半身2枚と中骨に切り分け、身に付着した腎臓等の有毒部位・血塊を除去する。身皮（筋膜）については、引かなくてよい。
16 中骨を処理する	尾びれを切り落とす。血液を除去する。 中骨周りの腎臓の付着に注意して除去する。
17 使用した器具を洗淨する。	まな板、流し台等に血液や粘液等が残らないように洗淨する。

○実技試験の回答例

- ・試験時間内に、以下の回答例説明を参考に作業を行ってください。
- ・内臓の識別には、19種類の札（「食用可」「食用不可」「眼球」「心臓」「とうとうみ」「胃腸」「皮」「脾臓」「ひれ」「なめたれ」「身・骨」「くちばし」「腎臓」「肝臓」「胆のう」「えら」「精巣」「卵巣」「雌雄同体」）と、2枚のバットを使用します（これらは、試験会場に準備してあります）。
- ・生殖器の識別には「精巣」・「卵巣」・「雌雄同体」のいずれか1枚を使用し、残りの2枚の札は、バットの外に置いてください。

○回答例説明（雄のトラフグの場合）

①食用可

- ・食べられる部位をバットに並べ、「食用可」の札を置いてください。
【食用可】「とうとうみ」「皮」「身・骨」「くちばし」「精巣」

②食用不可

- ・食べられないものをバット並べ、「食用不可」の札を置いてください。
【食用不可】「眼球」「心臓」「胃腸」「脾臓」「なめたれ」「腎臓」「肝臓」「胆のう」「えら」
- ・札がない部位（例：脳）や、処理過程で生じたものは、雑物としてまとめて並べてください。

※上記の①及び②で使用しなかった部位札は、バットの外に置いてください。

なお、回答例では、「卵巣」と「雌雄同体」の2枚がバットの外に置かれています。

※ふぐ処理中は水道水を使用し、よく洗いながら、血液・腎臓・なめたれ等不可食部位を洗い流し、タオルでよく水気を取り、可食部・不可食バットに置くと、仕上がりがきれいになります。